

広い視野で問題を見つける、仲間と考える、

体験

「プロジェクト学習」でリアルな体験を。

企業・団体・他大学と連携、デザイン依頼に取り組むことで視野が広がり、仕事の緊張感と責任感が身につきます。

2005年から「プロジェクト学習」に重点をおいたカリキュラムを編成しています。企業・団体・他大学などと連携し、現場の生の声を直接聞きながら、実体験としてリアルなデザインの仕事の流れ、問題解決の難しさを学ぶことができます。個人で課題を進めるばかりではなく、積極的なコミュニケーションを通じた学習で、社会で役立つ問題解決力を身につけることができます。



官学連携型

男女共同参画プロジェクト
男女共同参画週間(30年後の未来)である、介護・就労・育児・家事をテーマに大阪市役所に男女共同参画の普及を啓発する展示を行ったプロジェクトです。

産学連携型

スキマモリプロジェクト
JR西日本、東急電鉄、大阪公立大学と「子ども隙間転落防止プロジェクト」を推進。キャラクター「スキマモリ」を通じて子どもの世界や目線に寄り添ったメッセージをデザインしました。

小中高連携型

天満中プロジェクト
「いじめについて考える日」についてのイベント内容をデ研生が企画・実行するプロジェクトです。企画から、当日運営まで学生が担当しました。

地域活性化型

大阪市内の商店街ハロウィンストリートプロジェクト
商店街を盛り上げるため、ハロウィンイベントを学生が提案し、子どもたちが楽しむワークショップブースを複数設置しました。

ビジネススキル

プレゼンのノウハウやビジネスマナーも。

コンセプトワーク、企画書の作り方、言葉遣いやマナーなどのビジネスに必要なスキルを学べる。

いまやコンセプトワークや企画書の作成・プレゼンテーションはあらゆる職種で求められる基礎であり、デザイナーにとって必要な能力です。デザイナーを目指す学生たちにとって最低限の知識やマナーも、授業の一環として身につけることができます。



デザインで解決策を視覚化して、提案する。

授業

プロの講師陣による実践的な授業。

必要なデザインの知識と技術を伝え「インバウンド」「メタバース」「医療・介護」などの新たな分野へも繋がります。

第一線で活躍するプロによる実践的な教育が充実しています。グラフィックデザイナー、プロダクトデザイナー、Webデザイナー、カーデザイナーなど各分野のプロを講師として招き、新入社員を指導するかのよう、実際の仕事を想定し、教科書に縛られない実務的なノウハウを教わる授業を行っています。多様な講義・実習が、社会からの要求が増している「インバウンド」「メタバース」「医療・介護」などの学びに広がります。



定員

1学年、定員45名限定の少人数制。

2学年合わせても100名に満たない少人数のため、ひとりひとりに目が行き届く、アットホームな環境で学べます。

少人数のため、1年生と2年生の垣根も低く、講師と学生の距離も近いので、将来の就職・職業など様々なことを相談しながら学習できるアットホームな雰囲気の良い学校です。あなたもデ研の仲間のひとりとして、一緒にデザイン学習を深めていきませんか？



学費

公立のデザイン専門学校だから、学費負担が少ない。

デザインの学校は、学費がとても高額になるのでは？と思われるがちですが、デ研は、デザインの専門学校としては稀有の公立なので負担がおさえられます。

高校を卒業後もデザインの勉強を続けたいけれど、学費が高いという悩みはつきもの。デ研は公立の専門学校なので、授業料は2年間で約104万円(教材費別※)です。一般的な私立・国立大学、専門学校と比較して大幅に学費負担をおさえられます。経済的事情で将来の夢をあきらめることなく、充実したデザイン学習ができます。

※その他、実習材料費・プリンター印刷費・行事費・教科書・実習用品に関わる費用として年間約12万円、推奨するパソコン等にかかる費用として25~30万円が別途必要です。※デ研は学費減免対象校に認定されています。



二年間で広く学び、身につける実践力。

情報

あらゆる高校から、伝統に培われたデザイナーの道へ。

大阪府立工芸高等学校を含め、他府県のあらゆる高等学校の卒業生たちが、将来の夢に向かって、デ研で多様なデザイン学習をしています。

デ研では、全国のやる気と才能ある学生に広く門戸を開くため、併設されている大阪府立工芸高等学校だけでなく、全国のデザイン系高等学校の卒業生が受験できるようになっています。また、普通科高等学校の卒業生であっても部活動や、その他の専門教育機関で、デザインや美術、芸術などの基礎的造形教育を受けた方であれば受験できます。(詳しくは本校までお問い合わせください)

デザイン業界への就職率が高い。

デザイン系の業界への就職率が約90%以上と高く、その他の業界への就職率も含めると、ほぼ100%です。



ドイツ・バウハウスなど世界の近代デザインの基礎教育の流れを汲む工芸高校での3年間を、さらに2年間で深化・発展させてデザインのプロフェッショナルへ。

大阪府立工芸学校※は、デザイン教育の礎を築いたドイツ・バウハウスのワイマール校をモデルに建てられた本館と共に基礎教育内容にも影響が残されています。バウハウスが5ヵ年制の学校であったように、工芸高校の3年間の学習にくわえ、デ研ではさらに広いデザインについて2年間で学びます。培った知識・技術を持ち味に「なりた自分」を見つけて社会へはばたくことができます。

※1923年 大阪府立工芸学校開校 / 1948年 大阪府立工芸高等学校に変更 / 2022年 大阪府立工芸高等学校に名称変更

大阪府立工芸高等学校 本館
(大阪市指定有形文化財)



入試

ポートフォリオ作成や面接のため、準備や勉強してほしいこと。

下記のキーワードを理解して、説明できるようにしておきましょう！

- UXデザイン(ユーザーエクスペリエンスデザイン)
- CMFデザイン"Color(色) Material(素材) Finish(加工)"

実技(スケッチ力)

高校在学中の授業や部活動、自主活動で制作した作品を残しておいてください。あなたのポートフォリオ作成で活用できます。



下記の教科書を参考にしてください。

高等学校の教科書「デザイン実践」
※[文部科学省著作本 工業735 実教出版]

全体を読み、専門分野や興味にとらわれず幅広く理解しておいてください。この教科書には、面接で発問されるデザイン用語等がわかりやすく書かれています。

他にも...

- ※教科書「工業英語」[実教出版]
 - 教科書「デザイン史」[文部科学省著作本 工業 384 東京電機大学出版局]
 - 教科書「デザイン製図」[文部科学省著作本 工業 370 実教出版]
 - 教科書「インテリア製図」[文部科学省著作本 工業 369 実教出版]
 - 教科書「図表表現I」[文部科学省著作本 東京書籍他]
- 等をよく理解しておくことが受験準備としておすすめです。

